



## MIMIO SOUND MOVE

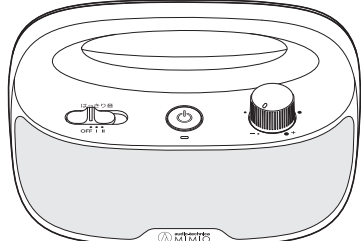
### 取扱説明書

お手元テレビ用スピーカー

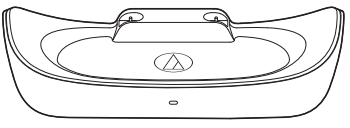
ご購入ありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

### ■ 同梱品を確認する

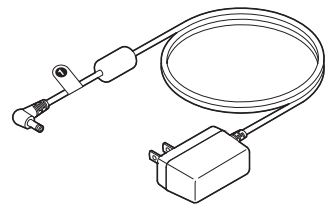
本製品をご使用になる前に、下記の同梱品がすべてそろっていることを確認してください。万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、ご購入先の販売店または当社お客様相談窓口までご連絡ください。



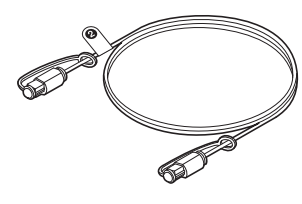
・スピーカー (ATMM-SP780R)



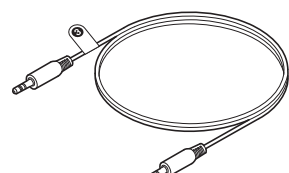
・送信機 (ATMM780TX)



・①ACアダプター (AD-SA0610AA)



・②角形光デジタルケーブル (1.5m／角形光プラグ)



・③オーディオケーブル (1.5m／φ3.5mmステレオミニプラグ)

- ・取扱説明書(本書)
- ・保証書
- ・かんたんマニュアル

### ■ 安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

|  |           |                                                           |
|--|-----------|-----------------------------------------------------------|
|  | <b>危険</b> | この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。      |
|  | <b>警告</b> | この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。         |
|  | <b>注意</b> | この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。 |

#### ■スピーカー/送信機について

## 警告

### ●本製品を医療機器の近くで使用しない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。

### ●自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。

### ●付属のACアダプター以外は使用しない

事故や火災の原因になります。

### ●異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない

異常に気付いたらすぐに使用を中止して、ACアダプターから抜きお買い上げの販売店に連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。

### ●分解や改造はしない

感電、故障や火災の原因になります。

### ●強い衝撃を与えない

感電、故障や火災の原因になります。

### ●濡れた手で触れない

感電やけがの原因になります。

### ●水をかけない

感電、故障や火災の原因になります。

### ●本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない

感電、故障や火災の原因になります。

### ●布などで覆わない

過熱による火災やけがの原因になります。

### ●同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない

事故や火災の原因になります。



注意

●不安定な場所に設置しない

転倒などによりけがや故障の原因になります。

●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない

故障、不具合の原因になります。

●火気に近づけない

変形、故障の原因になります。

●ペンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない

変形、故障の原因になります。

#### ■ ACアダプターについて

## 警告

### ●AC100V以外の電源には使用しない(日本国内専用)

過熱による火災など事故の原因になります。

### ●本製品以外には使用しない

過熱による火災など事故の原因になります。

### ●コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む

過熱による火災など事故の原因になります。

### ●異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない

異常に気付いたらすぐに使用を中止して、ACアダプターから抜きお買い上げの販売店に連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。

### ●コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない

過熱による火災など事故の原因になります。

### ●コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする

断線、故障の原因になります。

### ●コードの上に物を置いたり、数物や家具などの下に入れたりしない

断線、故障の原因になります。

### ●分解や改造はしない

感電によるけがや、火災など事故の原因になります。

### ●強い衝撃を与えない

感電によるけがや、火災など事故の原因になります。

### ●濡れた手で触れない

感電によるけがの恐れがあります。

### ●布などで覆わない

過熱による火災など事故の原因になります。

### ●プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る

事故や火災の原因になります。

### ●ペンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない 変形、故障の原因になります。

## 注意

●長時間使用しないときは、コンセントから抜く  
火災の原因になることがあります。安全のため、  
必ずコンセントから抜いてください。省エネルギーにご配慮ください。

●足に引っ掛かりやすい場所にコードを引き回さない  
故障や事故の原因になります。  
●通電中のACアダプターに長時間触れない  
低温やけどの原因になることがあります。

#### ■ 使用上の注意

- ・ご使用の際は、接続機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- ・電子機器類の近くで使用しないでください。本製品や電子機器にノイズが入ることがあります。
- ・本製品は長い間使用すると、紫外線(特に直射日光)や摩擦により変色することがあります。
- ・炎天下の車内に放置しないでください。故障の原因になります。
- ・強い衝撃を与えないでください。
- ・長い間ご使用にならない場合は、高温多湿を避け、風通しのよい場所に保管してください。
- ・本製品は完全防水ではありません。表面に水滴などが残った場合は拭き取ってください。
- ・出荷時、充電式電池は満充電されていません。初めて使用する際は、充電を行ってください。
- ・初めて充電するときや長時間使用していないときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。その際は、何回か充放電を繰り返すと通常の充電ができるようになります。
- ・本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所(目安として10〜35℃)で充電してください。上記以外での充電は、電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、充電ができなくなるなどの恐れがあります。
- ・充電式電池を使い切らないうちに充電を繰り返すと、充電状態とは無関係に電池が消耗するメモリー効果と呼ばれる現象が起きます。その場合、一度充電式電池を使い切ってから充電してください。それでも充電式電池の消耗が早い場合は、寿命が考えられます。充電式電池の交換については、ご購入先の販売店または当社のサービスセンターへお問い合わせください。
- ・充電式電池を保護するため、半年に一度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなる、充電しなくなるなどの恐れがあります。
- ・表面に水滴などが残った状態で充電しないでください。故障や火災の原因になります。
- ・角形光デジタルケーブルは外部からの衝撃や、曲げに対して弱いためプラグを抜き差しするときなど取り扱いにご注意ください。

### ■ 防滴性能について

本製品の防滴性能はスピーカー本体のみの仕様です。送信機や付属のACアダプター、角形光デジタルケーブル、オーディオケーブルは防滴仕様ではありません。防滴仕様は、キッチンなどで水に濡れた場合の保護を目的で設計されています。(IPX2相当) 防水仕様ではないため水をかけたり、水に浸けると故障の原因になります。また、スピーカーのヘッドホン端子のキャップが閉まっていないと本体内部に水が入り、故障や電池の液漏れ、発熱の原因となります。

\*スピーカーのみJIS保護等級、IPX2相当。製品に対して15度の角度で上からかかる水滴に対して保護されていることを意味します。お風呂などの高温多湿の場所では使用できません。

### ■ お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。汚れたときは AC アダプターをコンセントから抜いて、乾いた柔らかな布で拭き取ってください。

### ■ デジタルワイヤレス製品について

|                                                                                                                                     |                                                                                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。 |                                                                                    |
| 1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。                                          |                                                                                    |
| 2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。                |                                                                                    |
| 3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社お客様相談窓口までお問い合わせください。                   |                                                                                    |
| <div>2.4 x x 8</div>                                                                                                                | この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてその他の方式を採用し、与干渉距離は80m以内、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能を表します。 |

- ・本製品は、各国の電波法の適合または認証を取得している国でのみ使用できます。販売国以外では使用できません。
- ・本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。無線局の免許は必要ありません。
- ・本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。本製品を総務省の許可なしに改造して使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

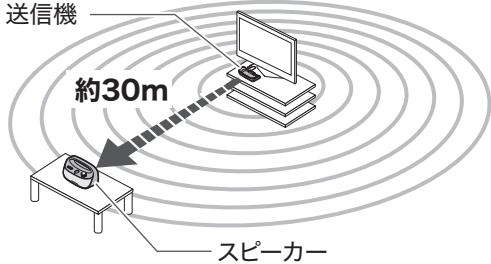
#### ■ ほかの機器との同時使用

Bluetooth搭載機器・無線LANを使用する機器・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器の影響によって音声が届切れるなど電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、下記の点に注意してください。

- ー 本製品と同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器を離して設置する。
- ー 病院内では使用しない。

#### ■ 通信距離について

本製品は送信機に接続した機器の音声をスピーカーへ無線伝送します。送信機から約30mの範囲でご使用いただけますが、障害物や他の電子機器との電波干渉の影響を受け、通信距離内でも音切れが発生する場合や、通信距離が短くなる場合があります。送信機は壁の近くなど電波を反射する場所、スチールラックの中など電波を放射しにくい場所を避けて設置してください。



- ・到達可能な範囲を超えた場合や、スピーカーと送信機の間に電波を遮るものがある場合はスピーカーのインジケーターが点滅します。
- ・送信機が自動電源オフ機能の停止状態になった場合、スピーカーが到達可能な範囲にあってもスピーカーのインジケーターが点滅します。

### ■ 故障かなと思ったら

|                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>■ 電源が入らない</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・スピーカーを充電してください。</li><li>・電池の寿命が考えられます。電池を交換してください。</li></ul>                                                                                                                | <b>■ 音が歪む</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・スピーカーの音量を調整してください。</li></ul>                                                                                                                             |
| <b>■ 音が出ない/音が小さい</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・本製品とテレビの電源を入れてください。</li><li>・送信機とテレビの接続を確認してください。</li><li>・スピーカーの音量を上げてください。</li><li>・スピーカーにヘッドホンを接続している場合、取り外してください。</li><li>・送信機を付属のACアダプターでコンセントへ接続してください。</li></ul> | <b>■ 音が途切れる</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・スピーカーのインジケーターが緑色またはオレンジ色に点滅している場合、電波が届いていません。到達可能な範囲でご使用ください。</li><li>・周囲に2.4GHz帯の電波を使用している機器があれば、離して設置してください。</li><li>・送信機とテレビの接続を確認してください。</li></ul> |
| <b>■ 充電できない</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・スピーカーの電源は切って充電してください。</li><li>・送信機と付属のACアダプターの接続を確認してください。</li><li>・充電式電池を保護するため、半年に一度は充電を行うようにしてください。</li><li>・満充電になっている可能性があります。しばらく使用してから再度充電してください。</li></ul>            |                                                                                                                                                                                                               |
| <b>角形光デジタルケーブル接続時</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・テレビの音声出力設定が「PCM」に設定されているか確認してください。</li><li>・ケーブルを根元まで確実に差し込んでいるかや、端子の向きを確認してください。</li></ul>                                                                            |                                                                                                                                                                                                               |
| <b>オーディオケーブル接続時</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・テレビの音量を上げてください。</li></ul>                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                               |

### ■ テクニカルデータ

|                           |                                                                                     |
|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>通信仕様</b>               |                                                                                     |
| 変調方式                      | GFSK                                                                                |
| 送受信周波数帯                   | 2.4GHz帯                                                                             |
| 最大通信距離                    | 見通しの良い状態で30m以内                                                                      |
| <b>スピーカー(ATMM-SP780R)</b> |                                                                                     |
| 型式                        | アンプ内蔵スピーカー                                                                          |
| スピーカーユニット                 | φ52mm×2                                                                             |
| 最大出力                      | 1.1W+1.1W                                                                           |
| 出力端子                      | φ3.5mmステレオミニジャック                                                                    |
| 電源                        | DC3.6V(専用ニッケル水素電池を使用)<br>DC6V(別売のACアダプターを使用)                                        |
| 連続使用時間                    | 約18時間*                                                                              |
| 外形寸法                      | H128×W200×D81mm                                                                     |
| 質量                        | 約667g                                                                               |
| <b>送信機(ATMM780TX)</b>     |                                                                                     |
| 入力端子                      | 角形光デジタル端子(サンプリング周波数48kHzのPCMのみ)<br>φ3.5mmステレオミニジャック                                 |
| 電源                        | DC6V(付属のACアダプターを使用)                                                                 |
| 外形寸法                      | H42×W191×D74mm                                                                      |
| 質量                        | 約118g                                                                               |
| <b>その他</b>                |                                                                                     |
| 付属品                       | 角形光デジタルケーブル(1.5m／角形光プラグ)<br>オーディオケーブル(1.5m／φ3.5mmステレオミニプラグ)<br>ACアダプター(AD-SA0610AA) |

\*使用条件により異なります。

改良などのため予告なく変更することがあります。

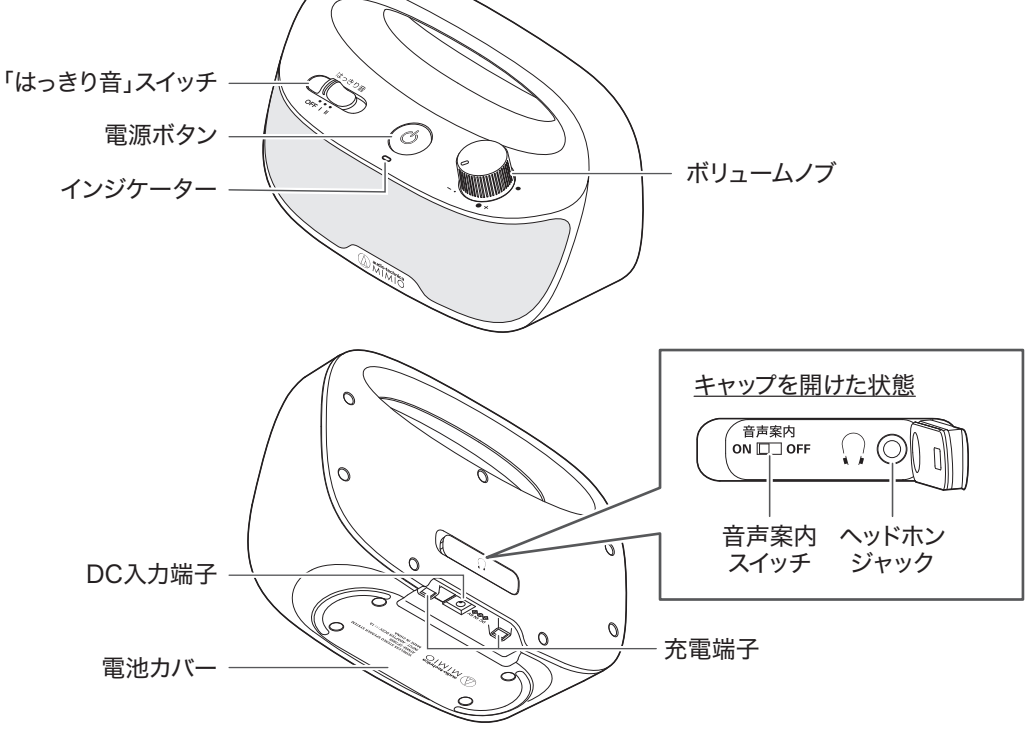
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| <b>お問い合わせ先</b> (電話受付／平日9:00～17:30)<br>製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。<br><b>●お客様相談窓口</b> (製品の仕様・使いかた)<br>☎ 0120-773-417<br>(携帯電話などのご利用は 03-6746-0211)<br>FAX:042-739-9120<br>Eメール: support@audio-technica.co.jp<br><b>●サービスセンター</b> (修理・部品)<br>☎ 0120-887-416<br>(携帯電話などのご利用は 03-6746-0212)<br>FAX:042-739-9120<br>Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp<br><b>●ホームページ</b> (サポート)<br>https://www.audio-technica-mimio.com/ | <b>修理について</b><br>本製品の修理をご依頼される際は、スピーカーと送信機の両方を御預けください。 |
| <b>アフターサービスについて</b><br>本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                        |

株式会社オーディオテクニカ  
〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-4-6-1  
www.audio-technica.co.jp  
©2025 Audio-Technica Corporation

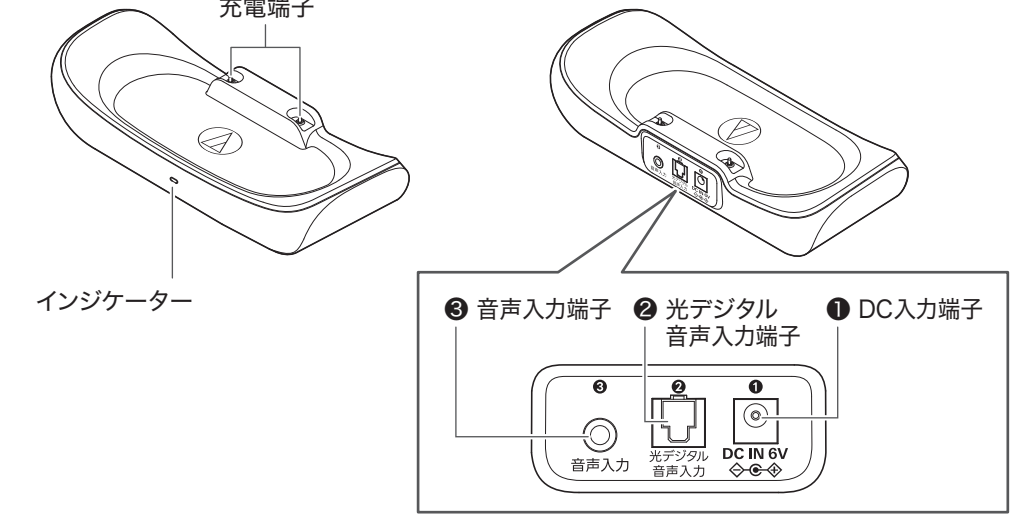
ATMM-SP780TV 232901510-01-01 ver.1 2025.05.01

## ■ 各部の名称

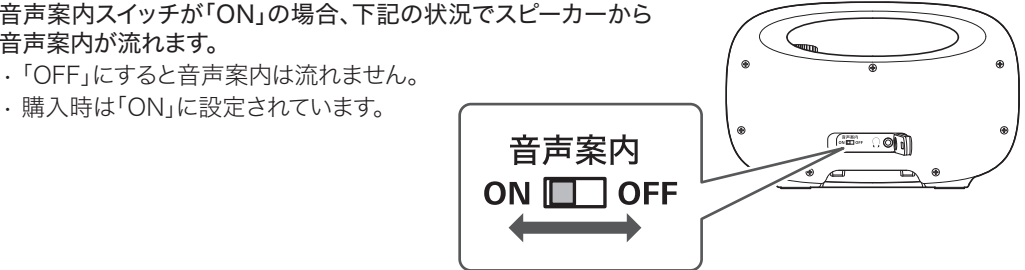
### ■ スピーカー



### ■ 送信機



## ■ 音声案内について



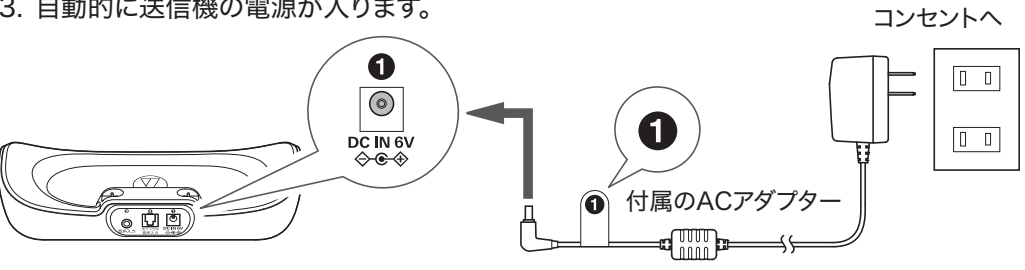
| 状況                           | 音声案内                                           |
|------------------------------|------------------------------------------------|
| 自動電源オフ機能でスピーカーの電源が切れた        | 電源を切ります                                        |
| スピーカーの電池残量が少なくなった            | 電池が少なくなっています                                   |
| スピーカーの電池残量がなくなった             | 電源を切ります 充電してください                               |
| 送信機とスピーカーの接続が切れた             | 送信機からの電波が届きません (20秒間隔)                         |
| 5.1chサラウンド放送などPCM以外の信号が入力された | テレビの光音声出力設定を確認してください (30秒間隔) 詳しくは取扱説明書をご確認ください |

## ■ 送信機を準備する

送信機と付属のACアダプターを接続します。

- ・ 付属のACアダプター以外接続しないでください。
- ・ ACアダプターとDC入力端子には、❶の数字が表示されています。

1. ACアダプターのプラグを送信機のDC入力端子へ接続します。
2. ACアダプターをAC100Vコンセントへ接続します。
3. 自動的に送信機の電源が入ります。



・ 電源の入／切スイッチはありません。電源を切る際は、ACアダプターを取り外してください。

・ 送信機の電源が入ると、送信機のインジケーターが点灯します。送信機のインジケーターの表示は下記の状態を意味しています。

| 表示      | 状態           |
|---------|--------------|
| 消灯      | 電源 切         |
| オレンジ色点灯 | 電源 入 音声入力待ち* |
| 緑色点灯    | 電源 入 接続中     |

\*送信機が電波送信停止状態

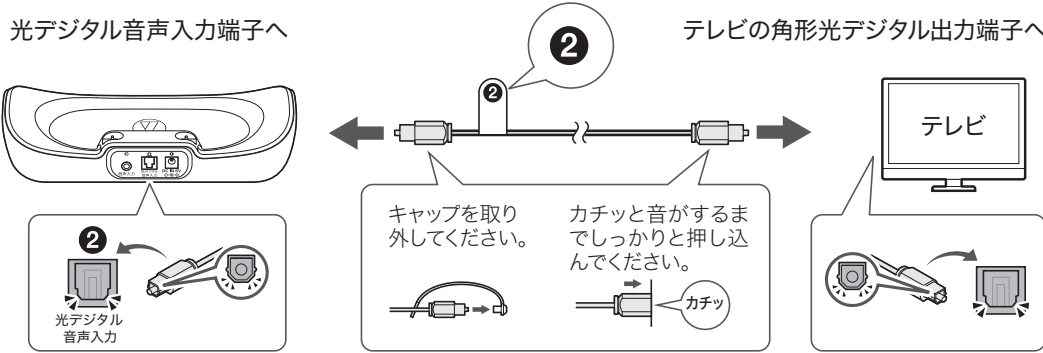
## ■ テレビとの接続のしかた

・ 送信機とテレビの接続は2通りの方法があります。まずは、お使いのテレビに角形光デジタル出力端子があるかご確認ください。

・ 角形光デジタル出力端子がある場合は「❷の角形光デジタルケーブルでテレビと送信機を接続する」を、ない場合は「❸のオーディオケーブルでテレビと送信機を接続する」をご確認ください。

### ■ ❷の角形光デジタルケーブルでテレビと送信機を接続する

テレビとスピーカーの両方から音声が出ます。



・ 付属の角形光デジタルケーブルと、送信機的光デジタル音声入力端子には、❷の数字が表示されています。

・ 端子の位置はテレビによって異なります。テレビの取扱説明書を確認してください。

・ 端子の向きはテレビによって異なります。ケーブル側の向きをテレビの端子に合わせてください。

・ テレビの音量を変えても、スピーカーの音量は変わりません。

・ 5.1chサラウンド放送には対応していません。

・ ❸の数字が表示されたオーディオケーブルを同時に接続しないでください。

・ お使いのテレビによってはテレビから音声を出ることができない場合があります。その場合は、「❸のオーディオケーブルでテレビと送信機を接続する」をあわせてご確認ください。

### スピーカーから音声が出ない場合

テレビの音声出力設定を「PCM」に設定します。

・ 下記表は一例です。詳しくはテレビの取扱説明書をご確認ください。

・ 主な設定方法は下記の通りです。名称や手順はテレビにより異なることがあります。

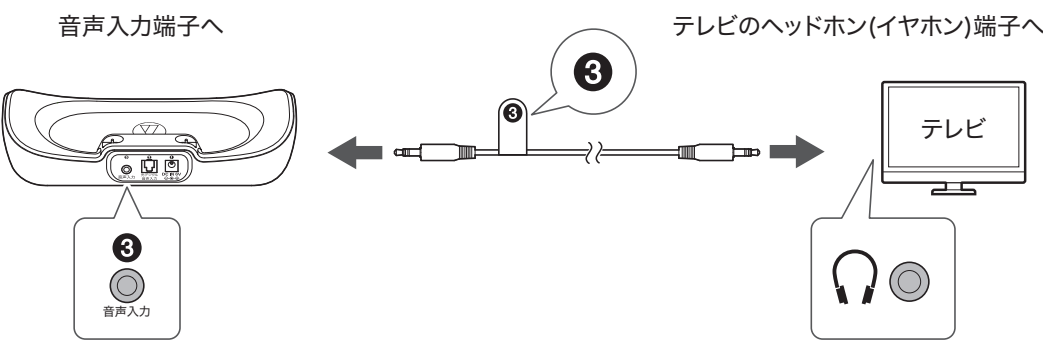
・ テレビに付属しているリモコンを使用して設定してください。

| メーカー                | 設定手順                                               |
|---------------------|----------------------------------------------------|
| 株式会社東芝              | [設定]→[音声設定]→[音声詳細設定]→[デジタル音声出力]→[PCM]              |
| シャープ株式会社            | [ツール]→[基本設定]→[ディスプレイと音]→[音声入出力]→[デジタル音声出力設定]→[PCM] |
| ソニー株式会社             | [クイック設定]→[設定]→[画面と音声]→[音声出力]→[デジタル音声出力]→[PCM]      |
| パナソニック株式会社          | [メニュー]→[設定]→[音量調整]→[デジタル音声出力]→[テレビ放送/ネット動画]→[PCM]  |
| ハイセンスジャパン株式会社       | [設定]→[音声設定]→[音声詳細設定]→[デジタル音声出力]→[PCM]              |
| 株式会社TCLジャパンエレクトロニクス | [機能]→[オーディオ]→[デジタル音声出力]→[PCM]                      |

・ 上記設定は一例です。設定方法が分からない場合は、ご使用のテレビメーカーに「デジタル音声出力を使う方法」をお問い合わせください。

### ■ ❸のオーディオケーブルでテレビと送信機を接続する

テレビから音声は出ず、スピーカーからだけ音声が出ます。



・ 付属のオーディオケーブルと送信機の音声入力端子には、❸の数字が表示されています。

・ テレビのヘッドホン(イヤホン)端子にプラグを奥までしっかりと押し込んでください。

・ 端子の位置はテレビによって異なります。テレビの取扱説明書を確認してください。

・ テレビの音量を変えると、スピーカーの音量も変わります。

・ ❷の数字が表示された角形光デジタルケーブルを同時に接続しないでください。

### テレビとスピーカーの両方から音声を出す場合

「スピーカー出力切替」など音声をオン／オフできるテレビでは、テレビからも音声を出す設定が可能な場合があります。メーカーごとの設定手順もご確認ください。

・ 下記表は一例です。詳しくはテレビの取扱説明書をご確認ください。

・ 主な設定方法は下記の通りです。名称や手順はテレビにより異なることがあります。

・ テレビに付属されているリモコンを使用して設定してください。

| メーカー       | 設定手順                                                                    |
|------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 株式会社東芝     | [設定]→[音声設定]→[音声詳細設定]→[ヘッドホン出力設定]→[ヘッドホンとスピーカー]                          |
| シャープ株式会社   | [ツール]→[基本設定]→[ディスプレイと音]→[音声入出力]→[ヘッドホン/アナログ音声出力設定]→[テレビスピーカー+ヘッドホン/アンプ] |
| ソニー株式会社    | [ホーム]→[設定]→[音質・音声設定]→[外部出力モード]→[ラインアウト出力]                               |
| パナソニック株式会社 | [メニュー]→[設定]→[音声調整]→[スピーカーとイヤホン音声の同時出力]→[する]                             |

・ 上記設定は一例です。設定方法が分からない場合は、ご使用のテレビメーカーに「ヘッドホンとテレビのスピーカーから同時に音を出す方法」をお問い合わせください。

## ■ 充電のしかた

・ 初めて使用する場合は、充電を行ってください。

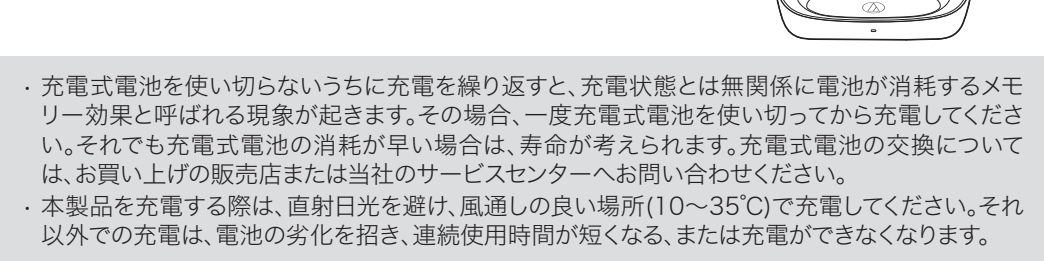
・ 充電式電池の残量が少なくなった場合、スピーカーのインジケーターの色が変わります(緑色→オレンジ色→消灯)。色が変わった場合は充電してください。

・ 充電する前にスピーカーの電源が切れていることをご確認ください。電源が入っていると充電できません。

・ スピーカーの電池残量が空の状態から満充電になるまでに必要な充電時間は約5時間です(使用条件により異なります)。スピーカーを初めて充電する際は、充電時間が短くなる場合があります。

・ 充電完了したあとに再度充電すると、満充電でもスピーカーのインジケーターが点灯することがあります。

1. 送信機とACアダプターを接続します。
2. スピーカーの電源を切り、送信機の上に置きます。
3. スピーカーのインジケーターが赤色に点灯し、充電を開始します。
4. スピーカーのインジケーターが消灯すると充電完了です。



・ 充電式電池を使い切らないうちに充電を繰り返すと、充電状態とは無関係に電池が消耗するメモリー効果と呼ばれる現象が起きます。その場合、一度充電式電池を使い切ってから充電してください。それでも充電式電池の消耗が早い場合は、寿命が考えられます。充電式電池の交換については、お買い上げの販売店または当社のサービスセンターへお問い合わせください。

・ 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所(10～35℃)で充電してください。それ以外での充電は、電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、または充電ができなくなります。

## ■ スピーカーの使いかた

### ■ 電源入／切

電源ボタンを押して、電源を入／切します。

・ スピーカーのインジケーターが下記のように点灯します。

| 表示      | 状態      |
|---------|---------|
| 緑色点灯    | 電源 入    |
| オレンジ色点灯 | 電池残量 少  |
| 点滅      | 送信機と未通信 |
| 赤色点灯    | 充電中     |
| 消灯      | 電源 切    |

・ テレビの電源を入れてから、スピーカーの電源を入れてください。

・ 使用後はスピーカーの電源を切ってください。

### ■ 音量調整

ボリュームノブで音量を調整します。

・ ボリュームノブを右に回すと音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。

・ スピーカーの音量は音が歪まない範囲でご使用ください。

### ■ 「はっきり音」機能

「はっきり音」スイッチを入れると、音声や台詞を明瞭に聞くことができます。

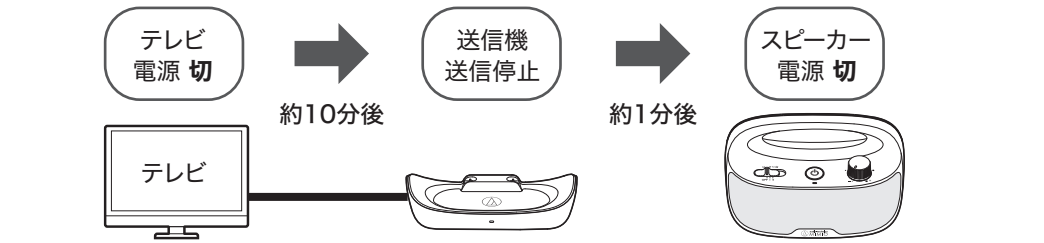
2段階切り替えて効き具合を調整できます。

・ 「はっきり音」スイッチを入れると音量によっては音が歪むことがあります。その場合、音量を調整し、音が歪まない範囲でご使用ください。

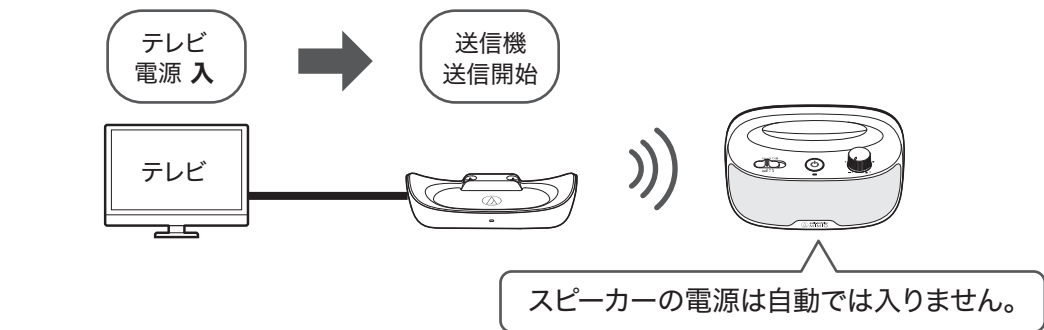
・ 「はっきり音」の効果には個人差があります。

### ■ 自動電源オフ機能

テレビから約10分間音声がない状態が続くと自動的にスピーカーの電源が切れます。



テレビから約10分間音声信号がない、もしくはテレビの音量が小さい状態が続くと自動的に送信機が電波の送信を停止します(停止状態)。停止状態では送信機のインジケーターが緑色からオレンジ色に変わります。送信機が停止状態になってから約1分後にスピーカーの電源が切れ、スピーカーのインジケーターが消灯します。



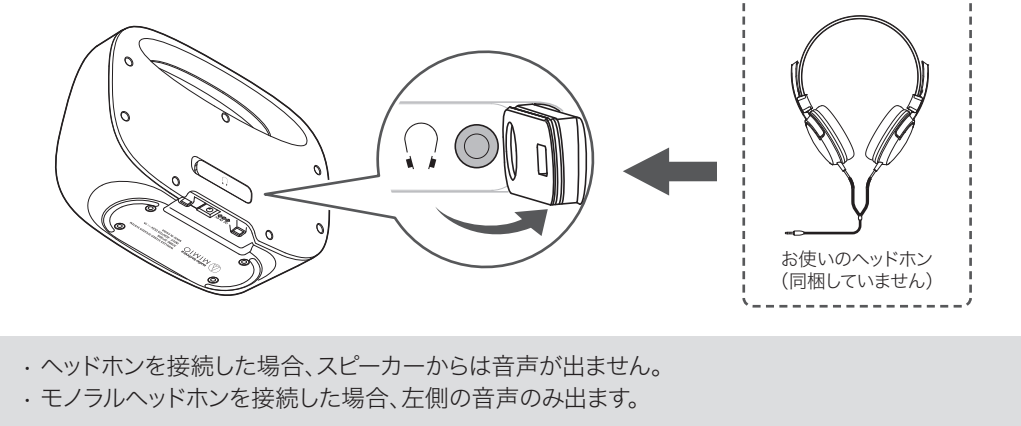
送信機が電波の送信を停止している状態で、テレビからの音声信号が入ると自動的に送信機が電波の送信を始めます。スピーカーの電源が切れている場合は、スピーカーの電源ボタンを押して電源を入れてください。

・ テレビの音量が小さいと、テレビの電源が入っているにもかかわらず、自動電源オフ機能が動作する場合があります。

・ テレビによっては自動電源オフ機能が動作しない場合があります。

## ■ ヘッドホンを使用する

スピーカーのヘッドホン端子にお使いのヘッドホンを接続すると、テレビの音声をヘッドホンで聞くことができます。



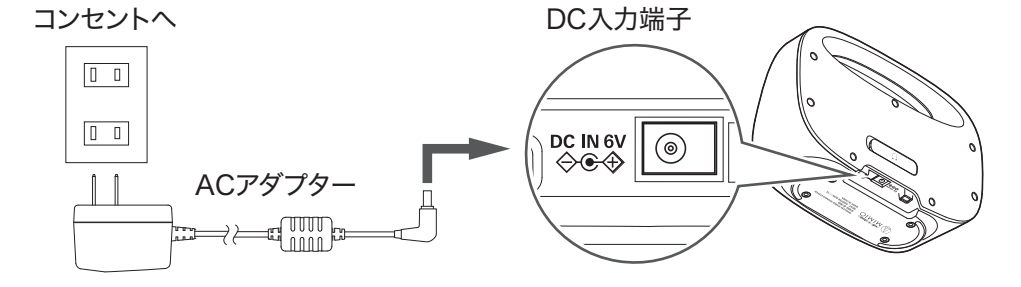
・ ヘッドホンを接続した場合、スピーカーからは音声が出ません。

・ モノラルヘッドホンを接続した場合、左側の音声のみ出ます。

## ■ ACアダプター(別売)でスピーカーを使用する場合

別売のスピーカー用ACアダプター (AD-SA0610AA)を使用して、電池残量を気にすることなくスピーカーを使用することができます。

・ 別売のACアダプター以外を接続しないでください。



・ スピーカーの電源を入れると、インジケーターは緑色点灯します。そのままスピーカーを使用しても、電池を消耗せず使用することができます。

・ スピーカーの電源が切れていると、インジケーターが赤色に点灯し、充電を開始します。インジケーターが消灯すると充電完了です。

・ ACアダプターを接続したままでも、過充電にはなりません。

・ スピーカーの電池残量が空の状態から満充電になるまでに必要な充電時間は約5時間です(使用条件により異なります)。スピーカーを初めて充電する際は、充電時間が短くなる場合があります。

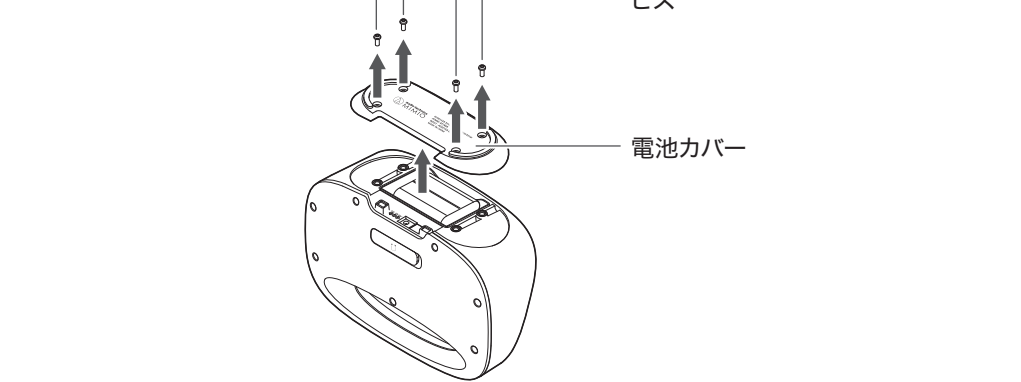
・ ACアダプター(別売)をお買い求めいただく際は、本製品を購入した販売店または当社のサービスセンターへお問い合わせください。

## ■ 充電式電池(内蔵)の交換について

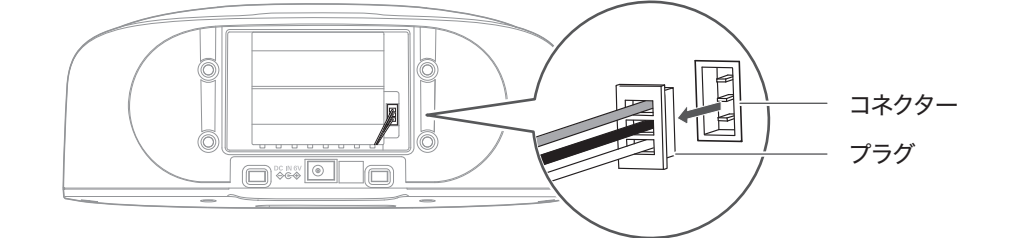
充電しても電池の消耗が早くなった場合は、充電式電池の寿命が考えられます。充電式電池の交換に関しては、本製品を購入した販売店または当社のサービスセンターへお問い合わせください。

・ 別売のスピーカー用ACアダプター(AD-SA0610AA)を使用している場合は、必ずACアダプターを抜いてから作業してください。

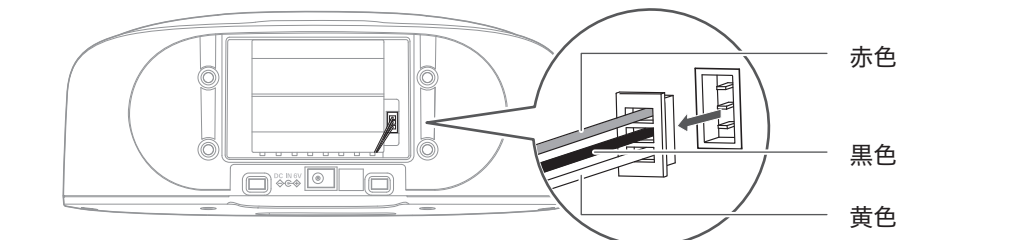
1. 市販のプラスドライバーでスピーカー底面にあるビスを4本取り外し、電池カバーを取り外してください。
- ・ ビスを無くさないように注意してください。



2. スピーカーから充電式電池を取り外し、プラグをコネクターから引き抜いてください。



3. 新しい充電式電池のプラグをコネクターにしっかりと差し込み、充電式電池をスピーカーに入れてください。
- ・ プラグのコード色に注意してください。



4. 電池カバーを取り付けて、ビスを閉めてください。
- ・ コードを電池カバーで挟み込まないように注意してください。

・ 万一、本製品の操作ができなくなってしまった場合には、充電式電池のプラグを抜き挿しすることで復帰します。充電式電池のプラグの抜き挿し手順は、上記をご確認ください。